

ALSO

(Advanced Life Support in Obstetrics)

プロバイダーコース

主 催 : 長崎県病院企業団
(長崎県対馬病院、長崎県上五島病院)
公益社団法人地域医療振興協会長崎県支部

共 催 : 国立病院機構 長崎医療センター
NPO法人周生期医療支援機構

日 程 : 平成28年5月13日(金) ~ 5月14日(土)

場 所 : 国立病院機構 長崎医療センター会議室

※定員に達しましたので、募集は終了いたしました。



公益社団法人

地域医療振興協会

Japan Association for Development of Community Medicine





ALSO プロバイダーコース in 長崎医療センター

平成 28 年 5 月 13 日、5 月 14 日開催

Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースである。またプライマリケア医だけでなく産婦人科の研修医を対象とした訓練でもある。

1991年にACLSとATLSに基づいて、ウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案した。1993年にコース権利 American Academy of Family Physicians(AAFP-米国家家庭医学会)によって認可され、現在全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられている。

またALSOコースは世界的に普及活動が行われており、2009年現在までに、50カ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上がALSOコースを完了した。

コースの教材は、シラバス(教科書)、レクチャー、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップである。

筆記試験とマネキンによる実技試験(メガデリバリー)がコースに含まれている。ALSOはLDRにおける産科の救急的対処を強調しているが、その他に出産前のリスク評価、妊娠初期の性器出血、患者-医師関係、出産危機における両親のサポート、そして医療過誤リスクの減少といったテーマも含まれている。

プロバイダーコースは二日間。重要レクチャーは妊娠初期の合併症、難産、妊娠の内科的合併症、妊娠後期の性器出血、分娩後大出血、早産、前期破水、妊婦の蘇生法、そしてマタニティケアにおける安全性の8つ。

少人数グループによる重要ワークショップは肩甲難産、胎位・胎向異常、鉗子と吸引、分娩中の胎児監視、重要な症例の5つ。オプション・ワークショップ:会陰縫合、帝王切開、超音波検査、出産危機における両親への対処、そして新生児蘇生の5つ。

プロバイダーコースを完了した際、参加者は5年間有効の認証を受けることができる。

プロバイダーコースの教官になることを希望する場合、一日間のインストラクターコースを受講しなければならない。

参加者は産婦人科医、プライマリケア医、研修医、救急医、助産師、そして医学部生などであり、現在あるいは近未来の日本の周産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加している。産科救急医療は、産婦人科医だけではすでに成り立たない状況になりつつあることは周知の事実である。

日本全国のすべての地域でできるかぎり同じレベルの産科医療を維持するには、産科医療に関わりたいという志を持った人たちをトレーニングする場を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要がある。

まさにその足がかりとなるトレーニングコースがALSOであり、今後日本で普及していくことを願ってやまない。

【概要】

主催：長崎県病院企業団
(長崎県対馬病院、長崎県上五島病院)
公益社団法人地域医療振興協会長崎県支部

共催：国立病院機構 長崎医療センター
NPO 法人周生期医療支援機構

日時：平成 28 年 5 月 13 日 (金) 9:00~19:00 予定
平成 28 年 5 月 14 日 (土) 8:00~17:00 予定

場所：国立病院機構 長崎医療センター 会議室

受講者数：30 名

参加費用：30,000 円

備考：長崎県病院企業団（長崎県対馬病院、長崎県上五島病院）の産婦人科医、助産師、それをサポートする長崎医療センター産婦人科医、助産師、および今後、離島医療に従事するレジデントが主な対象となります。

お問い合わせ：〒856-8562 長崎県大村市久原 2-1001-1
国立病院機構 長崎医療センター
医局受付 森 茜
TEL：0957-52-3121（代表）
E-mail：mori.akane@nagasaki-mc.com

2016 ALSO-Japan Provider Course Schedule @ Nagasaki

5月13日(金)

8:00 - 8:30 受付

8:30 - 8:45 (15分) オープニング

8:45 - 8:55 (10分) プレテスト

8:55 - 10:10 (75分)

L: Safety in Maternity Care 妊婦ケアにおける安全性/講義/icebreaking

10:10 - 10:20 (10分) 休憩

10:20 - 12:00 (100分: 講義30分、症例70分)

E: Intrapartum Fetal Surveillance 分娩時胎児監視/講義・症例

12:00 - 12:50 (50分) Lunch (12:10~12:40(30分)ランチョンレクチャー)

F: Labor Dystocia 難産

12:50 - 14:20 (90分: 講義20分、実技70分)

H: Assisted Vaginal Delivery 補助経膈分娩+正常分娩介助/講義・実技

14:20 - 14:30 (10分) 休憩

14:30 - 15:50 (80分: 講義20分、実技60分)

I: Shoulder Dystocia 肩甲難産/講義・実技

15:50 - 16:00 (10分) 休憩

16:00 - 16:30 (30分)

C: Vaginal Bleeding in Late Pregnancy 妊娠後期の性器出血/講義

16:30 - 16:40 (10分) 休憩

16:40 - 18:00 (100分: 講義25分、実技75分)

J: Post Partum Hemorrhage 産後大出血/講義・実技

18:00 - 18:10 (10分) 休憩

18:10 - 19:00 (50分: 講義20分、実技30分)

K: Maternal Resuscitation 妊婦の蘇生/講義・実技

5月14日(土)

8:00 - 8:10 1日目の復習

8:10 - 9:10 (60分: 講義25分、実技35分)

G: Malpresentations/Malposition プレゼンテーション・ポジション異常/講義・実技

9:10 - 9:20 (10分) 休憩

9:20 - 9:50 (30分)

D: Preterm Labor & PROM 早産と前期破水/講義

9:50 - 10:00 (10分) 休憩

10:00 - 11:50 (110分)

OB Cases & B: Medical Complications 内科的合併症/講義・症例

11:50 - 12:40 (50分) Lunch (12:00~12:30(30分)ランチョンレクチャー)

A: First Trimester Complications 妊娠初期の合併症/講義

12:40 - 13:10 (30分: 講義10分、実技20分)

N: perineal repair 会陰縫合/講義・実技

13:10 - 13:40 (30分)

特別講演

13:40 - 14:15 (35分)

全員写真撮影・試験準備 復習コーナー(休憩含む)

14:15 - 14:30 (15分) Closing remarks

14:30 - 17:00 (150分)

Megadelivery & Written Examination

筆記試験(会場1)、実技試験(各実技会場)

交通アクセス



■車・タクシー・徒歩で来院の方

- ・長崎空港から車で約15分
- ・JR大村駅から車で約10分
- ・JR諫早駅から車で約20分
- ・長崎自動車道 大村インターから車で約15分
- ・JR岩松駅から徒歩20分

■バスで来院の方（長崎県営バス）

【佐世保方面・JR大村駅より来院の場合】

- ・路線番号【1】または【3】に乗車
『長崎医療センター』下車、徒歩1分
- ・路線番号【2】または【4】に乗車
『大村ターミナル』で【1】【5】南部循環線【L】または【R】に乗り継ぎ
『長崎医療センター』下車、徒歩1分
または『長崎医療センター前』下車、徒歩3分

【諫早方面より来院の場合】

- ・路線番号【5】または【10】に乗車
『長崎医療センター』下車、徒歩1分

【南部循環線（大村ターミナル⇄市街地の循環路線）】

- ・南部循環線【L】または【R】に乗車
『長崎医療センター』下車、徒歩1分